

HP アンケートの集計結果（2017/10/19）

広報部 HP 担当 石谷

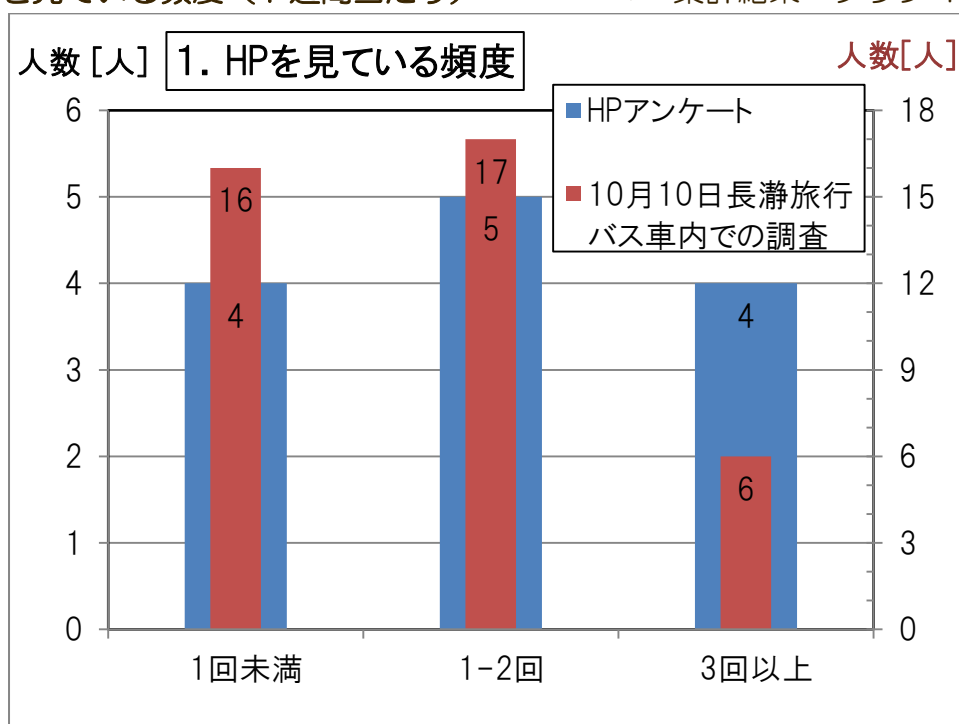
HP を立上げてから半年が過ぎました。HP をより魅力あるものとして持続させるために、皆さまの HP の閲覧頻度やご意見・ご感想をアンケート形式で間実施しました（9/22－10/10 間）。その集計結果を報告いたします。その集計結果を報告いたします。回答者の皆様、ご協力有難うございました。

今回の HP アンケートの回答者は、わずか 13 人と低調でした。9 期会員 62 人の内、PC やスマホで HP が見られる（総務部からの連絡手段が郵便である会員 8 人を除いた）会員は 54 人ですから、実効的な回答者率は、約 24%（ $=13/54 \times 100$ ）に相当します。しかし、10/10 長瀬バス旅行（参加者：全会員数の約 2/3 となる 39 人）の時に車内で挙手により「1 週間当たりの HP を見ている回数」について調査した結果と合わせることで、解析結果の信頼度が向上できました。以下に、アンケートの設問ごとに集計結果を示し、直ぐ後にマーク⇒を付けて、HP 担当者のレスポンスを記します（更なる検討・アイデアを要するものもあります）。

集計結果

設問 1：HP を見ている頻度（1 週間当たり）

⇒ 集計結果：グラフ 1



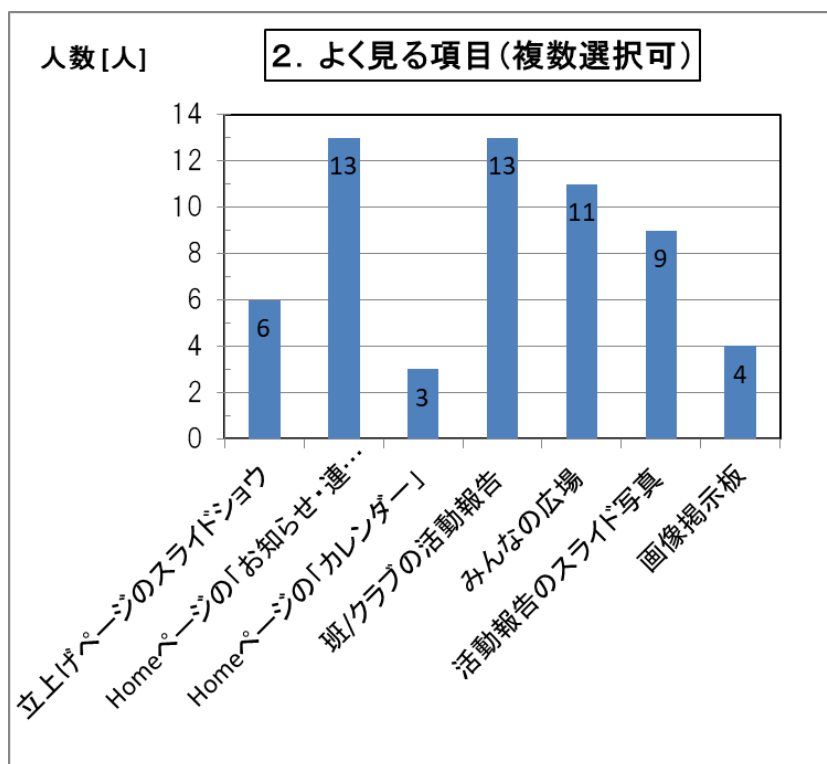
注：このグラフには、10月10日に行われた長瀬バス旅行（参加者 39 人）の車内で挙手による調査結果もプロットしてある。

⇒ 「HP を見ている頻度」については、10/10 長瀬バス旅行の車内で挙手による調査も行いました。バス旅行参加者は 39 人（全会員 62 人の約 2/3 に相当）でしたが、その中に HP にアクセスできない（総務部からの連絡手段が郵便である）会員 8 人の内の 1 人が混じっていることが判りました（総務部と企画部の協力を得ました）。つまり、バス旅行参加者で HP にアクセスできる会員数は、38 人です。1 週間当たりの HP 閲覧頻度が「1 回未満」、「1-2 回」および「3 回

以上」の会員割合は、それぞれ約 39%（15 人）、約 45%（17 人）および約 16%（6 人）になります。この割合は、HP にアクセスできる全会員 54 人に対しても、ほぼ適用できると思われます。（注：HP アンケート結果と長瀬カバス車内での結果をグラフ形状で比較すると、前者では閲覧頻度が「3 回以上」区分が過大割合になっていますが、その傾向は妥当なものです。）

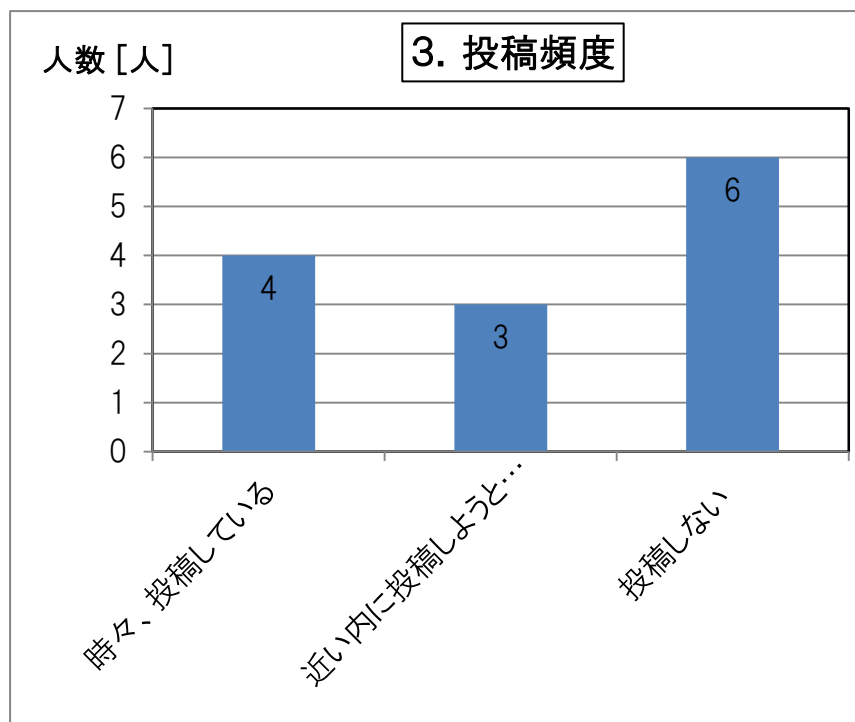
HP 担当者における今後の課題(No.1)は、閲覧頻度の割合を「1 回未満」から「1-2 回」に移行させることです。本質的な解決策は、①HP 記事の魅力性の向上、②HP 記事の新鮮さの向上と考えています。①については、HP「みんなの広場」や「画像掲示板」ページへの新規投稿会員を増やすことでしょう。②については、特に「画像掲示板」を、「活動計画の掲示・参加などの呼びかけ」などの会員間相互交流に利用展開していくことです。現在でも、これらの利用は可能ですが、極めて低調です。

設問 2：よく見る項目（複数選択可） ⇒ 集計結果：グラフ 2



⇒ よく見る項目に、「Home ページのお知らせ・連絡」、「班/クラブの活動報告」および「みんなの広場」が上位に来たのは予測通りでした。「画像掲示板」は、新設して未だ 2 か月ほどしか経過しておらず、今後の増大に期待したい。

設問3：投稿頻度 ⇒ 集計結果：グラフ3



設問4：「投稿しない」と回答した方にお聞きしたその理由

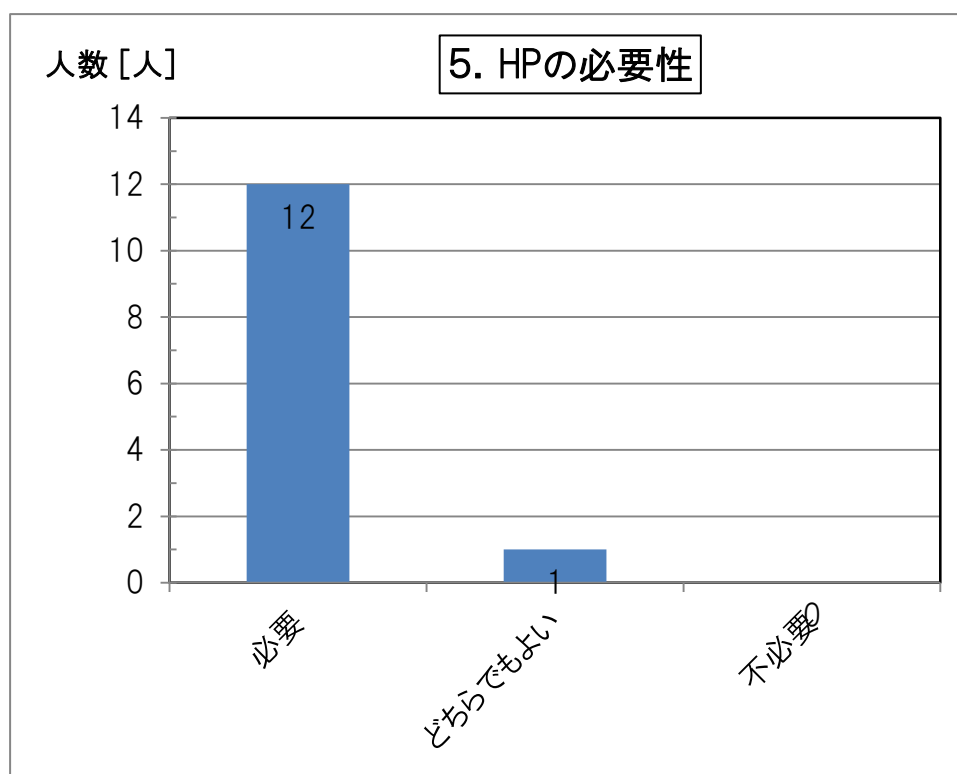
- ① 投稿する材料が見当たらないので、当面は見合わせている状況です。
- ② 苦手です。見ていだけでも楽しく、皆さんの様子がわかり、元気をいただけます。
- ③ 提供する題材がない為
- ④ 面倒で投稿を必要と思わない。
- ⑤ 投稿方法がよくわからない。

⇒ HP を魅力あるものにするためには、多くの会員が投稿して情報交換することが大切と考えています。現在の「班活動」「クラブ活動」「みんなの広場」ページは、それぞれ班、クラブ、個人の活動報告が主体になっており、半数近くの会員から投稿しない理由に①－③が出てくるのは当然かもしれません。しかし、2 か月前に新設した「画像掲示板」は、個人レベルの活動報告のみならず、お出かけやイベントのお誘いや感想など、また、季節の移ろいや映画、本などのお話し、何でも掲載対象としています。ちょうど、何かに感動した時にその感動を友達にメールをして「おすそ分け」するように、この掲示板を活用して頂きたいと思っています。今後、このアピールに努めたいと思っています。

理由⑤が出てくるのは、広報部と会員とのコミュニケーション不足かもしれません。活動報告原稿の投稿は、正式にはHP「投稿」ページにある「メールフォーム（リンク付き）」を介して受け付けることになっていますが、現在は未だHP立ち上げて 1 年も経過しておらず、HP 担当者のPCメールでも受け付けています。

新設したHP「画像掲示板」では、会員個人がスマホやPCから直接に書き込み（&削除）ができ、会員間の交流と共に記事の新鮮さを特徴にしています。だれもが書き込めるように、講習会「スマホによるHP掲示板へのテスト投稿」を、10/27 に開催予定です。

設問5：HPの必要性 ⇒ 集計結果：グラフ5



⇒ ほとんどの会員が「HPを必要」と判定されたことは、HPの立ち上げとその中身について、支援組織から合格点が得られたものと判断し、素直にうれしく思っています。

設問6：HPの改善点

① HPを双方向の場にしたい。投稿の敷居が高いのかもしれない。機会のあるたびに、投稿の方法説明、内容はなんでもいいことを周知させる。

② 特に今は思いつかないのですが、気がついた時点でその都度に連絡をしようと思います。

③ 特に重要度の高い情報は特別に目立つ工夫（字の大きさや色や囲いなど）をしていただければいいのでは？ 新聞の大見出しのようなイメージ。

④ とても良いと思います。特に最初のスライドショーの映像はきれいですね。

⑤ 分かりやすい事だと思います。情報が多いのもどこを見たらよいかわからないから。

⑥ HPを見る人は固定会されてしまっているのではないと思う。交流活動は班やクラブが主体になっているので、母体としての校友会を意識することがないと思う。HPは自分が所属する班やクラブが活動したときに活動報告を見るくらいになっているのではないかな。

HPをみるきっかけ作りとしてメールで1～2週間単位くらいで新しく掲載した記事の見出しだけでも知らせたらどうだろうか？

⑦ 入間9期の様子がよくわかり、今のままでよい。

⑧ まず見てもらうのが大切だから、たまには投稿の内容を知らせるようにする。

⇒

1. HP記事の見やすさや読みやすさなど、記事や文字の表記スタイルに関して

ご指摘の改善点については、同感に思うところが多々あります。HPのデザイン力とその実現技術の向上に努めます。

2. 新しいHP掲載記事を会員にメールでお知らせすることに関して

組織の中でHPが未だ根付いていない時は、「メールでお知らせ」も有効かもしれません。しかし、HPもインターネットに属しますが、インターネット記事を他の情報発信ツールであるTVや新聞でアピールすることはありません。アピールするのは、その記事原稿の執筆者やその記事をいち早く見た閲覧者です。9期HPにおいても同様で、もし、新しいHP掲載記事を会員にメールでお知らせするとすれば、お知らせするのはその記事原稿の執筆者であって、HP担当室ではないと思われまふ。

原稿執筆者(情報発信者)は、そのHP記事をどれだけ多くの会員に喜んで読んでもうかに配慮して執筆しています(or するべきです)。HPはその情報発信のツールにすぎません。だからこそ、原稿執筆者がメールでHP掲載記事のアピールすることは理に反しないのです。他の記事の原稿執筆者も同様のことをやれば、会員間の相互刺激・交流はより豊かなものになるでしょう。HP担当室がメールでお知らせしても、相互刺激・交流にはつながりません。

設問7：ご意見&ご感想

① 来期に向けて管理者をどうするか考えなければならない。TIさんがそのままやってくれればいいが。

② 半年経って記事が増えてきていますが、私は立場上議事録や報告が多くなってしまいます。他の班や個人で活動している記事も増えると、見る方も楽しみは増えるかも知れません。

③ 写真はいいですね！！ 読むHPと見るHPを区別して活用させてもらっています。

④ タイムリーな情報源として今後も必要と思います。

⑤ 編集等の皆様 ありがとうございます。楽しませて頂いております。特にはきれいな花々・景色に写真を眺めて癒されております。そして皆様の隠された特技、才能に驚き感服しております。

⑥ 校友会に所属していない、クラブ活動部長さんに了解を得ていつどこへ行くとか情報があればいいですね。活動日が分かると行事が重ならず済むし、活動状況も分かるから。

⑦ HPを開く人が固定化されてはいないでしょうか？1週間単位くらいで、どんなものが新しく投稿されたかとかメールで一斉送信したらどうでしょうか？無理かな？まず、HPを身近なものにすることから始めることかなあ。「メールなんかあまり見ないから電話で」ってある班員から言われたことがあります。そういう方たちも相手にしないといけないんですよね。

⑧ 情報や近況を発信するには必要と思いますが、運営担当者の負担を考えると簡単に必要とは言えません。本部発信の連絡網を確立すれば、それでも良いと思います。

⑨ 校友会の皆様の活動内容がよくわかり、HPを見るのを楽しみにしています。

⑩ HPを閲覧して会員の活躍や理事の活動がわかります。みんなのために計画や手配していた

だき感謝いたします。

校友会を結成するときに、各班から代表者2名を選出でしたが、私の班は3名しか校友会に参加しないため、代表者を選出できませんでした。まら、来年度以降、他の各班の校友会への希望者は減少すると思われ、各班から代表者の選出が困難になると予想されます。代表となり活躍したい人は、入間連協や県連協はよい組織と思われますが、私は遠い組織や人と関係を持ちたいと思いません。

川越39期が選択した校友会を離れ、同好会のような入間9期だけの新しい組織が良いと思います。

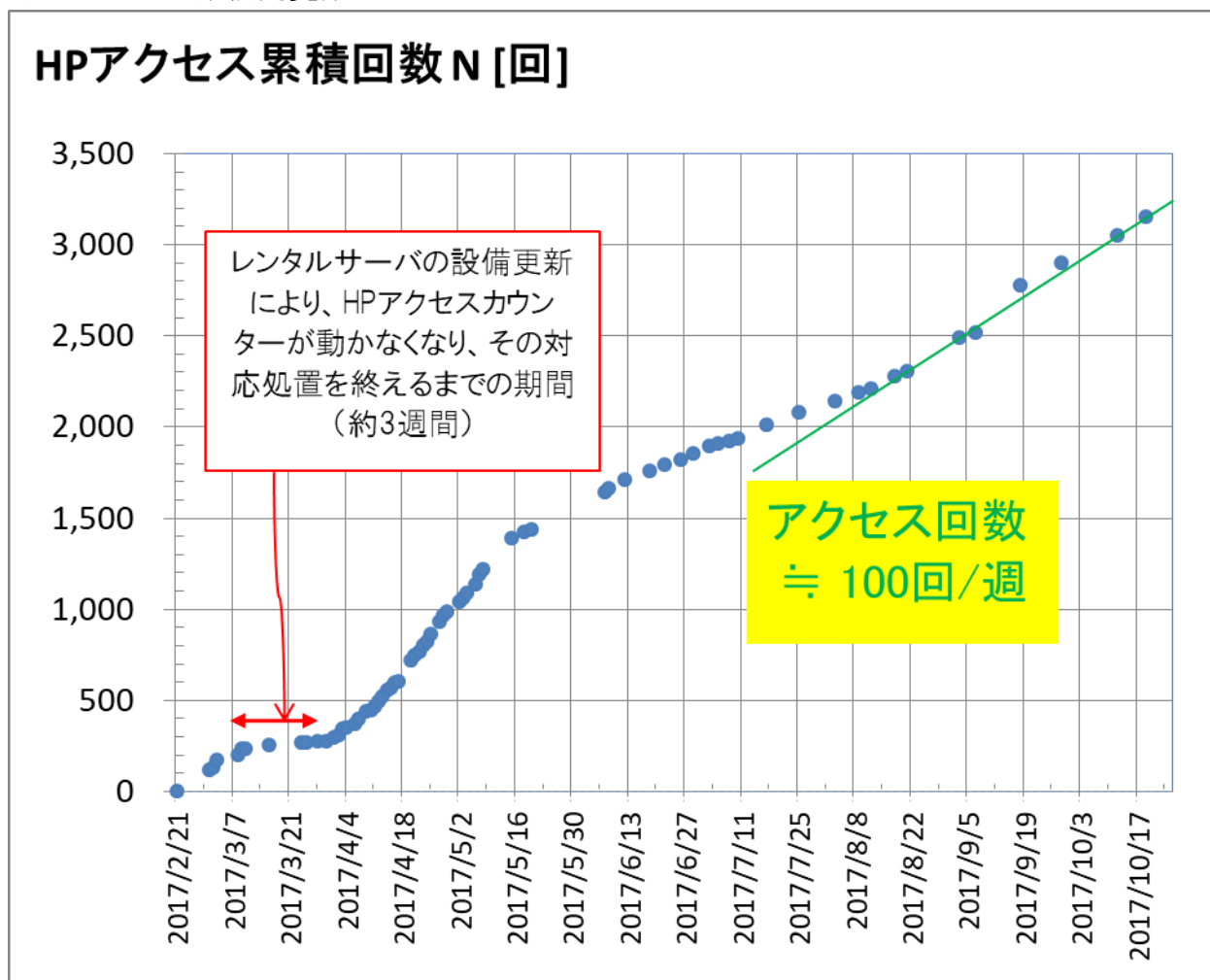
⑪ お世話して下さる方々に感謝！ありがとうございます。楽しんでおります。

⑫ 広報部員なのに、役に立つような案が思い浮かばず申し訳ありません。

⇒ HPが今後も存続するためには、会員がいてそれぞれの会員が投稿(情報発信)することです。互いに刺激したり刺激されたりで活きた持続組織になります。愛し愛され、信頼し信頼され、褒めたり褒められたり、健全な持続組織になるためには何事も同じなのでしょう。

「ご感想」には、私たちHP担当室への感謝やねぎらいの言葉があり、ボランティアで携わる生身の人間にとっては明日への活力になります。大変、有難うございました。

追記：HPの累積閲覧数



上図は、2017/2/21 のHP 立上げから今日 2017/10/19 までのHP アクセスの累積回数を経緯でプロットしたものです。最近の 1 週間当たりのアクセス回数は、近似直線（図中の緑色の直線）の傾きから、約 100 回であることが判ります。この値は、設問 1 の 10/10 長瀬バス旅行時に車内で挙手による調査結果からの推測値約 90 回（導出は下記参照）とよく一致しています。

参考：長瀬バス旅行時での挙手による調査結果を用いての 1 週間当たりのアクセス回数

9 期校友会の会員数：62 名

HP がアクセスできる会員数：54 名

バス旅行参加者：39 名

バス旅行参加者でHP がアクセスできる参加者：38 人

「バス旅行参加者でHP がアクセスできる参加者」において

1 週間当たりのアクセス頻度：1 回未満（＝代表値として 0.5 回）⇒15 人

1—2 回（＝代表値として 1.5 回）⇒17 人

3 回以上（＝代表値として 5 回）⇒6 人

計： $0.5 \times 15 + 1.5 \times 17 + 5 \times 6 = 63$

HP がアクセスできる会員数に対する「1 週間当たりのアクセス頻度」の推測値

$63 \times (54/38) \div 90$ [回/週]